

学術機関リポジトリ構築連携支援事業（IR: Institutional Repository）

学術機関リポジトリ(Institutional Repository)は、大学及び研究機関で生産された電子的な知的生産物を保存し、原則的に無償で発信するためのインターネット上の保存書庫として、以下の意義を有する。

- ・大学の研究教育成果の積極的な情報発信
- ・社会に対する大学の研究教育活動の説明責任の保証
- ・大学で生み出された知的生産物の長期保存
- ・商業出版社が独占する現行の学術出版システムに対する代替システム

国立情報学研究所では、平成17年度から機関リポジトリの構築と連携を促進するために、委託事業を実施。

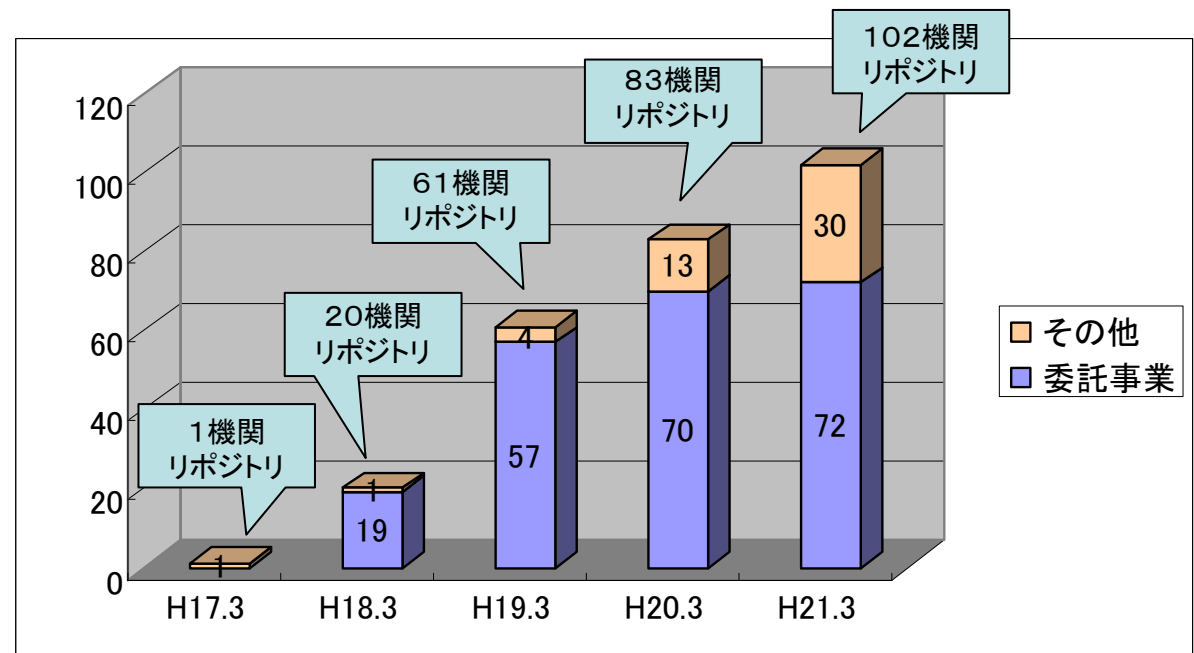
○「機関リポジトリ構築連携支援事業」委託機関数

年度	委託機関数
H17	19大学
H18	57大学
H19	70大学
H20	72大学

※ 複数年度継続実施している大学（機関）を含む。



日本の機関リポジトリ運用状況



※ その他は、委託機関以外で公開している機関。
※ 委託事業は、試験運用を含む。